

<p><b>事業名</b></p>	<p>『“新しい地域スポーツ”の価値創造基盤の構築』 ～福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム事業の推進、継続と城南区6中学校部活動の地域移行トライアルの一体的取り組み～</p>
<p><b>事業概要</b></p>	<p>①持続可能な地域スポーツ環境の整備と事業の継続・自走化 R4年度に設立されたコンソーシアム事業の継続拡大と自走化へ向けた取り組みの推進、一般社団法人FUスポーツコミュニティの学内設置(R5年6月完了予定)</p> <p>②福岡市のスポーツ参画人口拡大と小学生体力向上への取り組み キッズから中高年世代まで幅広い年齢層の市民を対象に、スポーツ参画機会と場を提供する。福岡市内小学生の体力向上策の支援障がいの有無に関わらずスポーツに誰もが「ともに、つながり、アクセスできる環境づくり」を推進する</p> <p>③運動部活動の地域移行へのトライアル事業とアンケート実態調査 福岡大学周辺の城南区6中学校部活動への支援策、FUスポまちコンソーシアム内に城南区中学部活トライアル連絡協議会を設置指導者養成・派遣型のマッチングシステム構築と大学スポーツ資源(施設・指導者・学生)を活用した集合型(合同練習)トライアル事業の展開</p>

■対象地域の課題

- ・福岡市の人口増加数、増加率は全国トップ(20政令市中)  
約162万人となった人口は近年増加傾向が続き、若者人口も多い、スポーツへの関心高い
- ・スポーツインフラ施設の慢性的不足  
人口の急激な増加に対し、市・行政のスポーツ施設だけでは対応不可スポーツをする機会、場の創出が急務、多様な団体との連携不足
- ・スポーツに関わる人材、指導者の育成と派遣システム構築  
スポーツ指導者の量的不足と質を確保するマッチングシステムが不足
- ・小学生の体力低下問題や教員への研修事業  
市内150校の公立小学校教員への体力向上プログラム研修機会の不足
- ・中学校部活動の地域移行問題への着手・始動  
部活動指導員、支援員の予算は確保しても、人材(指導者)不足の課題解決が急務

■活用する大学スポーツ資源

- ・福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム組織(参画18団体)  
(略称：FUスポまちコンソーシアム) 城南区中学部活トライアル連絡協議会を新設大学が中心となり、行政、企業、地域スポーツ団体が一体となった共同体設立
- ・スポーツ科学部に所属する教員30名、助手・助教30名・学部生約1200名  
高度なスポーツ指導歴や知見・研究者を有している
- ・校友会体育部に所属する44部、約2000人の運動部員  
全国的にも上位に位置する高い競技レベルの学生アスリートが多い
- ・ワンキャンパス(ドーム球場45個分)に集約された最新鋭のスポーツ施設群  
体育館、室内プール、各種専用グラウンドが隣接し、地下鉄などの利便性が高い
- ・福岡市を本拠地とするプロスポーツ、実業団チームとの連携、協力体制  
本学卒業生が地元チームに入団するなど、日頃から交流がある
- ・小・中・高校の教員を目指す学生が多数在籍している  
スポーツ科学部では体育教員養成コースがあり、指導者養成の拠点として実績が高い
- ・スポーツ指導者養成研修会のための会場・教室等が使用・確保できる

■期待される事業効果

- <大学スポーツ資源を活用した持続可能な地域スポーツ環境の一体的整備>
  - ・中学部活動の地域移行問題を契機として、地域全体としてのスポーツ環境の整備を一体化して推進していくことができる。
  - ・福岡市中心部からの交通アクセスが良く、利便性と豊かなスポーツ資源を有する福岡大学が新しい地域スポーツの拠点として機能することが期待できる
- <期待される効果>
  - ・中学部活への指導者派遣実績向上・教員の負担軽減・小学生の体力向上・スポーツ参画人口の拡大

■事業の実施体制図 (学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと)

